

第 55 回病院対抗野球大会 京都久野病院が初優勝 !!

京都府知事杯争奪創立 55 周年記念第 55 回病院対抗野球大会の最終日（第 4 日目）が 6 月 23 日（日）に横大路硬式野球場にて準決勝戦と決勝戦が行われた。

準決勝第一試合では伏見桃山総合病院が昨年の覇者・醍醐病院に、第二試合では京都久野病院がいわくら病院に勝利し、決勝進出となった。

両チームとも初めての決勝進出となった京都久野病院と伏見桃山総合病院の試合は、緊迫した試合を制し、京都久野病院が初の優勝の栄冠を手にした。

試合終了後に行われた表彰式では、優勝した京都久野病院に表彰状・知事杯・優勝旗およびトロフィーが、準優勝の伏見桃山総合病院に表彰状とトロフィーが手渡された。また、第 3 位のいわくら病院と醍醐病院にも表彰状とトロフィーが贈られた。さらに協賛企業の株式会社公益社から、優勝から 3 位までの 4 チームにエンゼル杯と副賞が贈られた。

次に市場真澄担当幹事より閉会の挨拶がなされ、4 日間にわたった大会は幕を閉じた。

なお、個人タイトルでは、最高殊勲選手に京都久野病院の西田尚人選手、最優秀投手に同病院の神田直樹選手が選ばれた。

《第 55 回大会ベスト 4 のチーム》

優 勝：京都久野病院

準優勝：伏見桃山総合病院

第 3 位：いわくら病院・醍醐病院

●第 4 日目（準決勝・決勝）試合結果 ※左が勝者

準決勝第一試合 伏見桃山総合病院 4 - 1 醍醐病院

準決勝第二試合 京都久野病院 5 - 1 いわくら病院

決勝 京都久野病院 9 - 2 伏見桃山総合病院



優勝・京都久野病院チーム



準優勝・伏見桃山総合病院チーム

第55回京都府知事杯争奪病院対抗野球大会を終えて

大会副実行委員 いわくら病院 加茂 有紀浩

今年も京都府知事杯争奪病院対抗野球大会が4月14日に開幕し、全35チームの熱戦が繰り広げられ、6月23日京都久野病院の優勝をもって無事閉幕しました。

雨の影響でグラウンドコンディションの悪い日もありましたが、予定通り試合を行うことができ、選手の皆様に大きな怪我も無かったことを喜ばしく思います。

今大会は勝ち進むにつれ、接戦になることが多く、選手の皆様の真剣さ、緊迫感が見ている我々にも伝わる白熱した試合ばかりだったと思います。野球離れが進む昨今、あらためて、野球のすばらしさ、楽しさを感じる大会になったと思います。

また次回、56回大会に向け各病院の皆様が練習に励まれ、白熱した試合になることを期待しています。

最後に協賛して頂いた公益社様、実行委員の皆様、事務局の皆様、ご参加頂いた病院の皆様に心より感謝いたします。有難うございました。



「和」を原点に

医療法人社団育生会 京都久野病院 小松 匡也

当法人の野球部は50年ほど前から存在しており、先輩方が野球大会に参加したり、活動がなかつたりした時代もあったようです。今大会のチームは約8年前、ユニフォームも揃っていないところから活動をはじめました。その時は私自身、高校まで野球経験があったので職場の仲間と野球ができる嬉しさを今でも覚えています。毎年まず1勝を目指し大会参加を重ね、練習で集合することも多くなっていました。若いメンバーも徐々に集まり2勝、3勝と着実に結果を残すまでになりました。

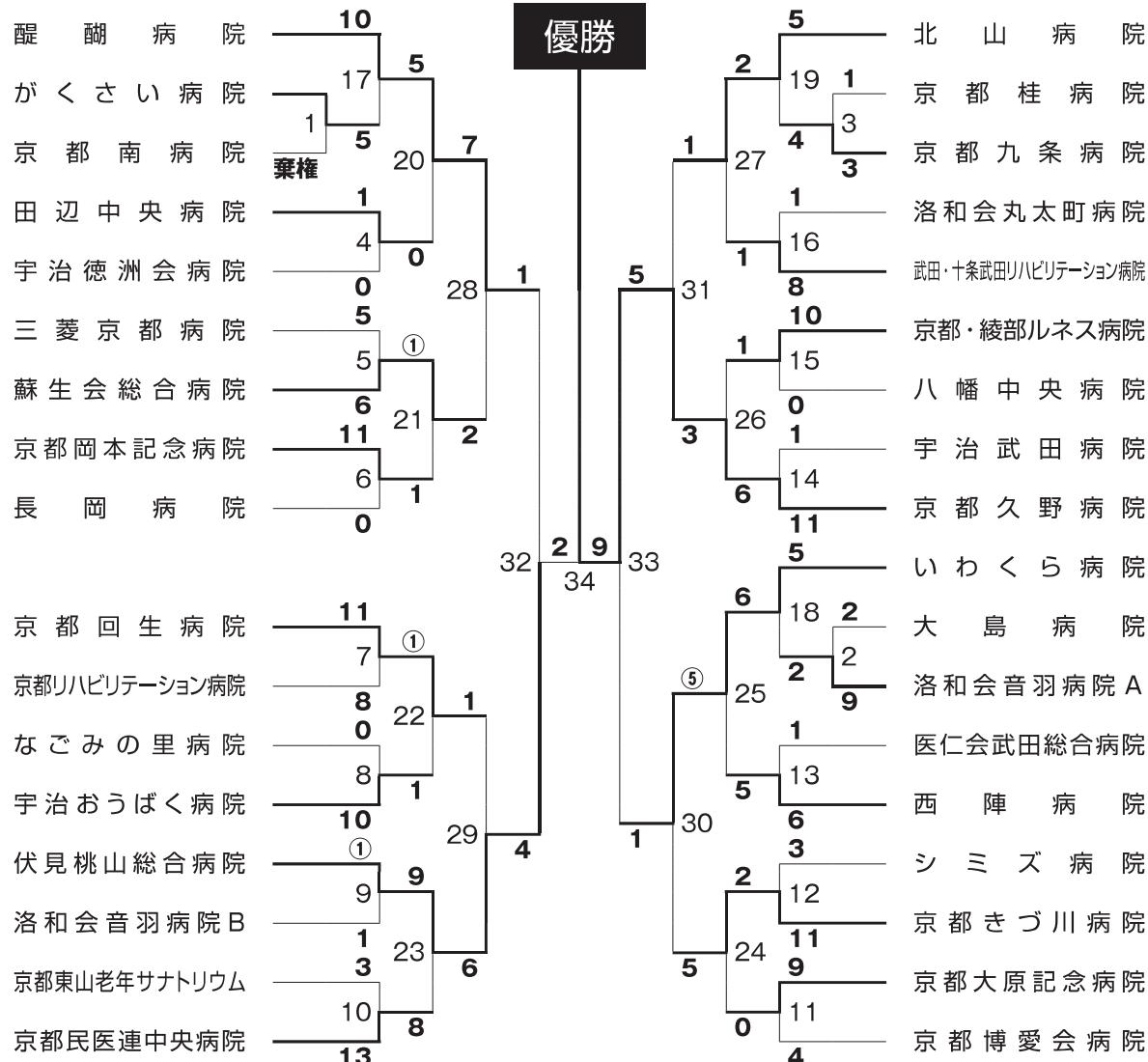
そして今年の野球大会。私はいつの間にかチームのメンバーの中で上から数えた方が早い年齢になり、監督の役割を与えられることになりました。決して楽な試合ばかりではありませんでしたが、ここぞというときに自慢のチームワークで乗り切り、チャンスをものにし接戦を勝ち進んだ結果、優勝という最高の結果で終えることができました。

当法人の理念“和を原点に”を胸に、全員が全力でプレーできた賜物ではないかと思います。ひとつ目の目標に向かってチーム一丸となり取り組む姿勢は今後のメンバーの業務に必ずや活かされる事だと思います。そして、何より全員が怪我なく終えられた事に安堵しています。

優勝旗の歴代優勝チームのリボンを見て、野球大会だけでなく、この京都私立病院協会の歴史の重さを優勝旗以上に感じることができました。この喜びを法人の皆さんと分かち合い、今後も野球を通じて職場の仲間との交流や結束を深めていきたいと思います。

大会関係者の方々や公益社様をはじめ、当法人の理事長、法人関係者の方々、暑い中応援に来て下さった方々、本当にありがとうございました。

京都府知事杯争奪創立 55 周年記念大会
第 55 回病院対抗野球大会 トーナメント表



第3位・いわくら病院チーム



第3位・醍醐病院チーム